

六稜舎報



INDEX

●母校はいま…
校舎改築の進行状況について
秋田典昭2

●随想
「六稜新聞」創刊の思い出(1)
生島幹三3

●The Millennium Plan
新六稜会館構想について
菅 正徳4
新六稜会館・設計コンセプト
竹山 聖5

●六稜・大阪学「大阪の橋」
第1回ワークショップ「十三大橋」
松村 博6

PARTY REPORTS14
ソフトボール部創部50周年、125周年
総会、理研アルマイト工場勤労北
中生同窓会、隣同志の優勝戦・50周
年、59期同期会(五九老会)、選抜優
勝50周年・現役激励会(野球部)、阪大
医学部六稜会、東京六稜会42回総会、
71期卒業40周年、天高剣友会・六稜
剣友会交流試合、関東在住68期の会
(北野東京31会)、91期卒業20周年、
78期同期会

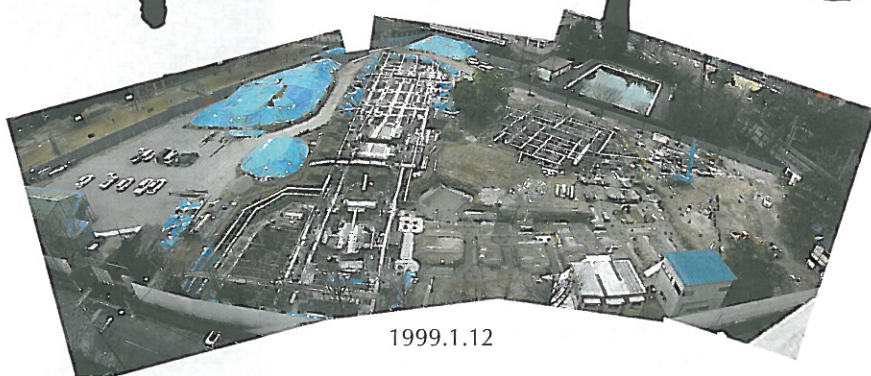
六稜ゴルフの集い17
第10回クラブ対抗、第13回桃陰六稜
親善、第14回桃陰六稜親善、第10回
期別対抗

会務報告+会計報告18

母校の窓20
職員異動、全国大会出場等激励金、文
化活動振興費、文化活動助成金、国際
交流基金、英作文コンペティション、
クラブだより

大学合格者数一覧23

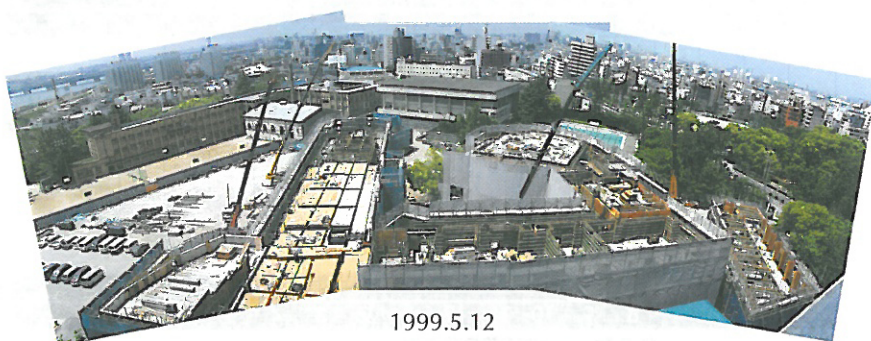
●六稜WEBインデックス
六稜・大阪学11
われら六稜人12
六稜NEWS15
恩師を訪ねて16



1999.1.12



1999.3.17



1999.5.12



1999.8.21

NO.33
1999.9.15

校舎改築、第1期工事は順調に終了予定…いよいよ第2期は講堂の撤去!!

<http://www.rikuryo.or.jp/kaichiku.html>

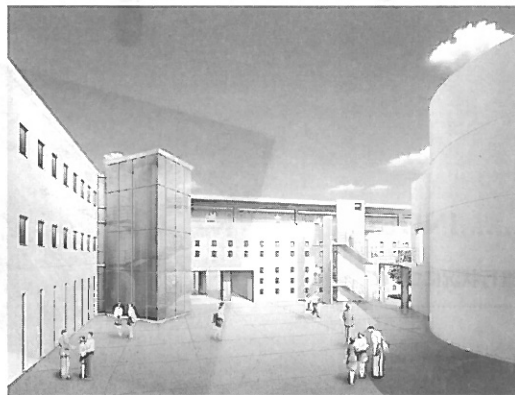
(See. → p.2)

校舎改築の進行状況について

六稜同窓会名誉会長／大阪府立北野高等学校校長

秋田典昭

昨年5月に始まった校舎改築工事は、順調に進んでいます。旧図書館等の撤去工事が随分以前のように感じられますが、実はまだ1年余しか経っていないことに改めて驚いています。第1期工事では、現在の講堂に代わる多目的ホール、図書館棟、管理棟、理科芸術社会などの特別教室、普通教室（9クラス分）が建てられます。各建物は、それぞれ外壁工事が終わり足場・シートが外され、いよいよ新しい北野の姿を現しました。竹山聖先生の基本設計になる新校舎は朝日にまぶしく輝いています。ゆったりとした空間と重厚な造りはいかにも新しい世紀の北野を支えるにふさわしい校舎です。来年の1月に完成、3月に1回目の移転。続いて府議会の承認を得て、平成12年の5月から講堂等の撤去に始まる第2期改築工事に入る予定です。これは普通教室18クラス分の建築工事です。着工から5年、基本計画からは11年という長期にわたります。工事の規模の大きさと府立の顔としての北野への期待が窺われます。



※壁面に囲まれた中庭は、にぎやかなグラウンドとは対照的に静寂な空間を形成する。

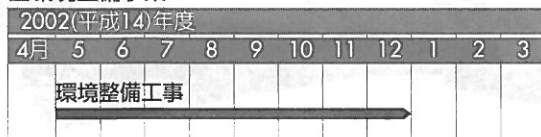
■校舎第1期改築事業



■校舎第2期改築事業



■環境整備事業



※本スケジュールは、8月末時点における予定です。
 なお、工事期間中は(北側)通用門からの出入りができません。(南側)正門へお回りください。

「六稜新聞」創刊の思い出(1)

生島幹三(60期)

六稜60期の我々は1947年(昭和22年)3月に北野中学校を卒業したから、すでに半世紀を経過したことになる。私にとっては、その卒業の直前の2月1日に「六稜新聞」の創刊号を、そして2月15日にその第2号を、辛うじて発刊させることができたことが、それと結びついて思い起こされるのである。

その前年1946年4月に我々は5年生となった。1年上の59期生は大空襲の始まった1945年(昭和20年)3月に、58期の5年生とともに4年で繰り上げ卒業させられていたので、我々は4年生になった45年春から、既に自動的に最高学年になっていた。ただし当時我々は学徒通年勤労動員に出動中で、敗戦後の秋に1年ぶりに学窓へもどったのであった。大阪の町も殆どが焼失し、北野の校舎も一面の焼跡の海に漂う船のような姿であった。日夜目の前に迫っていた死が急に遠ざかり息をついたのは事実であったが、敗戦後のこの国が、また我々の前途がどうなるのか、学校教育もどうなるのか、さっぱり我々にはわからない状態であった。

しかし、戦時の苛烈な北野の権化ともいべき田村校長が45年の暮近く離任され、年が明けて我々の4年生の終りの頃に、今度は新しい時代の象徴のように浜田校長が着任された。そして占領軍の支配下で、全面的に従来のものが否定されてゆき、新しい教育方針も定められ、その施策が次々と実施されてゆくことになる。

その5月頃であったか、突然私は同学年の小山内信一君と共に平田泰雄先生に呼出された。北野には戦前、校友会の『六稜』という雑誌があったのだが、その復刊の仕事をしてくれないかというお話である。およそ聞いたことも見たこともないもののことで、先生も詳しい説明を一切付け加えられず、ただそれだけおうかがいしてひき下がったように思う。

私はこれまで平田先生に教わることも個人的にお会いする機会もなかった。ただ北野の最古参の先生の一人で、戦中も朝礼で重々しく通達事項を申し渡す役割を果たしておられるのを知るばかりであった。そのため、敗戦後、権威的なものに対する懐疑と強い反発心を抱いていた16歳の私の目には、平田先生は(今となってはまことに申し訳ないことだが)いやに重々しく権威主義的なマイナスイメージにしか写らなかったのである。

一緒に呼出された小山内信一君とは、2年生の時だけ同じクラスだった。陸軍の兵隊服のような草色の制服を着せられていた我々とちがって、元来1年上で病

気で原級に留まった彼は、昔からの北野の黒い小倉の制服を着ていた。教室の彼の所へは、時々同じ黒い制服を着た小柄でひょろっとして眼鏡の目に特徴のある友人が訪ねてきて、彼と少し話をしては何かを手渡してゆくのであった。その後で彼は私の所へ来て、その持ってきた紙を見せてくれたものである。丸ペンで丹念に書いた昆虫の画、それも特に、奇妙な甲虫の一種が糞を転している画、と4コマ漫画をいくつか書いたものであった。すみにあるサインについては、「あいつ、このオサムシという虫が好きで、自分のペンネームを、余分に『虫』を付けてオサムと読ませるんや」と説明してくれた。小山内君は大体無口でもの静かな男で、当時の手塚氏のことでこのような会話を交したことぐらいいしか思い出せない。

さて、我々二人が何故指名されたのかと今になって考えてみると、直接我々を御存じない平田先生自身の判断であるはずはない。恐らく二人とも一種の文学少年であると目をつけられたのだらうとでも思うしかない。

それはともかく、当時の私は心身ともに参っていた。戦争末期の食料不足と過重労働は、「学徒通年勤労動員」の最後の時期に極点に達し、私はそのため戦後10年間は当時医者から「心臓脚気」という名で呼ばれた体の不調に、(比較的快調な真冬と真夏を除いて)苦しまねばならなかった。5年生の1学期は特にひどくて、延日数で50日ぐらいは学校を欠席したと思う。おまけに小学校以来10年間、戦争の中で教育されてきて、15歳で焦土の敗戦とともに全く正反対の価値観や世界観をつきつけられ、精神的に混乱状態に置かれてしまった。何か特定のものを、白とも黒とも自分の方から考えることができず、同時に手負いの猪のように何にでも狂おしく突っかってゆきたいような心理状態であった。このような状態にあって、『六稜』復刊の話に関心を持つどころではなかったのである。

さて、そのまま2学期になってからであったと思うが、突然また小山内君と平田先生に呼出された。今度は学校新聞をやらないかとのお話である。これには『六稜』以上に私はびっくりさせられた。この46年から大阪府下のあちこちの中等学校(中学校や女学校)で新聞発行が始められているようであった。私はかねがね、他校で企てられていることに一々北野も追随して、しかもそこで首位に立たねば沽券に拘わるとでもいわんばかりの考え方には強い反発を感じていた。ぜひやりたいたいという人があるなら大いにやればよい、自分としては中学校の生活の中で(しかも今最終学年の5年生が)わざわざ時間と労力と経費を費やして新聞を作ったりする必要があるのか、という考えであった。また、私は内向的で非社会的で、まわりのことに無頓着で無関心という、およそこれ程ジャーナリストに不向きなタイプの者はあるまいと思える人間であったのだから、私が当惑したのも無理もないわけである。【続】

新六稜会館構想について

新六稜会館建設委員会/機能検討委員会

菅 正徳(69期)

■新六稜会館の目指す方向

新校舎にふさわしい外観を持つとともに、同窓会員、教職員、北野在校生のみならず広く地域に開かれて利用されるものを目指し、明治6年創立以降の貴重な資料類、六稜人からの受贈文化財その他の保管、開陳および大阪文化の学術研究の場とする。

併せて、新しい北野高校図書館との協同、補完機能をも有する。六稜同窓会の事務局をここに有することは言うを俟たない。

■主たる機能

新会館は主として以下の3つの機能を有する。この運営組織および経費については引き続き機能検討委員会を中心に大阪府との折衝も含めて具体的に検討していく。

1) 同窓会活動の拠点

同窓会組織の運営・維持
広報活動
各種行事・事業の企画
同期会・クラブOB会活動の支援
上記活動に必要な機器の設置

2) 集会場(ホール・会議室・クラブルーム)

同窓会員の利用(同期会、クラブOB会、同好の集い等)
教職員・PTAの会議・会合
在校生の各種集会
同窓会主催セミナー・講演会(一般市民対象)

3) 資料展示・収蔵

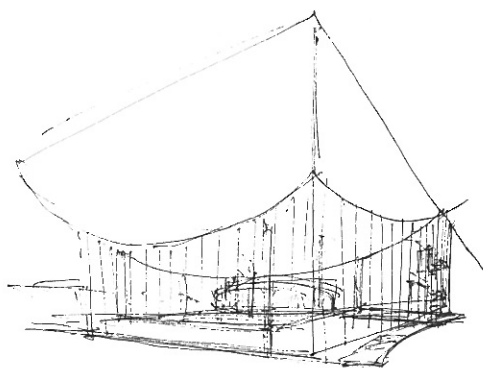
学校所蔵の中等教育史料の整理と目録作成
資料のデジタル化と閲覧サービス
音声・映像資料の視聴サービス
六稜関係資料の収集

■建設費用およびその帰属

1) 本館建設母体は六稜同窓会とし、広く会員およびその趣旨を理解する関係者よりの出捐金にて建設費をまかなうこととする。

2) 本館は北野高校敷地内(新正門東側)に建設し、竣工引渡後、大阪府へ寄附する。

3) 会館の運営母体は六稜同窓会とする。その運営は別途に設ける委員会によってなされるものとする。



■募金目標額とその算定基礎

1) 募金目標額 3億5千万円(予定)

2) 算定基礎

1.建築工事(設備含む)	300坪×1,000千円
2.外構・植栽	7,500千円
3.備品(家具、AV機器、コンピュータ他)	15,000千円
4.設計監理費用その他	27,500千円
合計	350,000千円

■新六稜会館建設推進機構

●建設委員会

委員長	山本次郎(62期・副会長)
委員	内藤壽一(61期・常任理事)
同	山元一夫(64期・事務局長)
同	菅 正徳(69期・常任理事)
同	北浦康弘(71期・常任理事)
同	岸田知子(78期・常任理事)
同	鎌田俊一(81期・学内理事)
同	井上洋治(北野高校事務部長)

●募金委員会

委員長	稲畑勝雄(56期・会長)
副委員長	大山利雄(56期・副会長)
同	山本次郎(62期・副会長)

●財務委員会

委員長	内藤壽一(61期・常任理事)
-----	----------------

●機能検討委員会

委員長	脇田 修(62期)	
委員	中江要介(53期)	丸野豊子(66期)
同	木戸 湊(72期)	梶本興亜(73期)
同	和太守卑良(74期)	岸田知子(78期)
同	竹山 聖(85期)	谷 卓司(98期)
同	柏尾洋介(旧職員)	鎌田俊一(81期現職員)
事務局	菅 正徳(69期)	寺井あかね(81期)
植栽小委員会		小寺範生(69期)*
校舎改築記録保存小委員会		竹山 聖(85期)*
資料総目録小委員会		岸田知子(78期)*
		(*印は小委員長)

新六稜会館・設計コンセプト

建築家・京都大学助教授

竹山 聖(85期)

天空＝浮遊するホール→可能性に満ちた未来

地上＝透明なステーション→活動的な現在

大地＝埋蔵されるギャラリー→秘かに息づく過去

新六稜会館は過去・未来・現在を三つのプログラムによって構成されています。

そして天と地を結ぶ意志を形にあらわしています。

過去のプログラムとは、これまでの北野高校と同窓生に纏わる資料の収集・保存・展示のための空間をさします。

総称してギャラリーと呼ぶことができますでしょう。

未来のプログラムとは、このようにして培われた北野文化を講演・発表・ワークショップなどの形で伝えてゆくための空間であり、祝宴、会合などにも用いられる、同窓生の交流のための空間でもあります。総称してホールと呼ぶことができますでしょう。

現在のプログラムとは、こうした過去と未来をつなぐ、北野文化の活動拠点です。さまざまな情報を整理し、加工して、多くの人々に送り届け、またその反応を受け止めます。展示と交流の企画をも担い、情報ネットワークの中核となる、いわば頭脳のような役割を果たします。

総称してステーションと呼ぶことができますでしょう。

それらが有機的連関を持って機能するために、しかもコンパクトかつ有効に敷地を活用するために、それぞれの空間は立体的に、地下、空中、そして間に挟まれた地上に配されます。

すなわち大地に過去を、天空に未来を、地上に現在を、という空間的配列をとります。

秘かに息づく過去、可能性に満ちた未来、そしてそれらをつなぎ合わせる活動的な現在。

埋蔵されたギャラリー、浮遊するホール、透明なステーション。

天空の円形と大地の方形は古来の宇宙論の示すところです。浮遊する未完結な球体は、無限の知を有限の形にこめる、人類の願いを示しています。

大地と天空の間に生きる人間。

過去と未来の間に産み落とされる現在。

天と地の対位法。

新六稜会館は、多くの先達そして日本のみならず世界をも舞台とする同窓会員の活動によって築かれ、また築かれてゆくであろう北野文化を明らかにし、その紹介と交流を通して、世界中の会員相互のみならず、北野高校の根ぞす大阪そして十三という地域に開かれた活動を行っていきたいと考えています。計画はこうした意志をも表現する形でありたいと考えました。

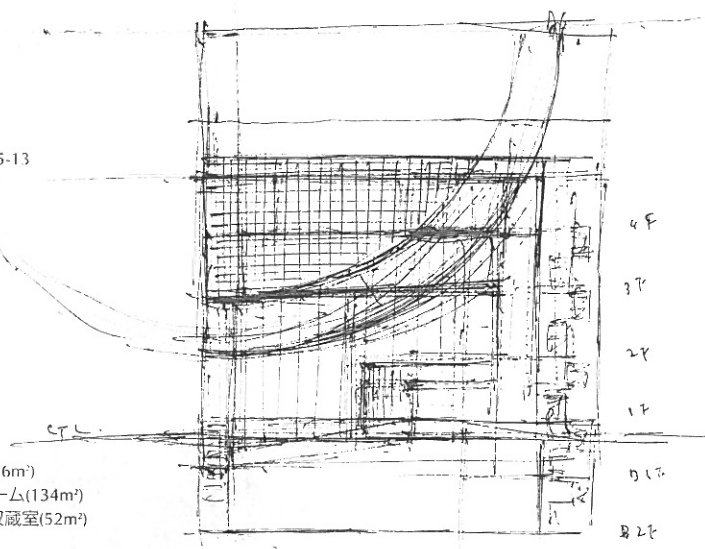
98年10月6日

●工事概要

名称	新六稜会館(仮称)
所在地	〒532-0025大阪府淀川区新北野2-5-13 大阪府立北野高校内
建築構造	地下：鉄筋コンクリート造 地上：鉄骨造
規模	地下1階、地上3階
延床面積	974m ²
設計監理	竹山 聖(85期)
施工期	平成14年4月～平成15年3月(予定)

●施設概要

R階	16m ²
3階	383m ² ：ホール(240m ²)
2階	147m ² ：学芸員室(64m ²)、会議室(26m ²)
1階	258m ² ：同窓会事務局、クラブルーム(134m ²)
B1階	170m ² ：資料展示室(97m ²)、資料収蔵室(52m ²)
合計	974m ²





●六稜・大阪学「大阪の橋」

第一回ワークショップ「十三大橋」

1999年7月18日、北野高校プレハブ教室にて開催。

講師は松村博さん(74期)。参加者12名。

今日は十三大橋を実際に見ていただくという企画です。お話のほうは簡単にしたいと思います。私も北野に通った当時は、淀川というのはてっきり自然の川やと思ってたんですが、大阪の歴史を少しかじるようになりまして、今の淀川は完全に人口の川なんで、びっくりしました。明治の30年代から改修工事を始めて43、4年に完成してるんですが、今の伝法あたりから毛馬を通して守口のあたりまで広い川を堀ったという非常な大工事をしました。



そもそも、淀川の本流は堂島とか中之島をながれている大川が本流でして、古い時代には、淀川の本流へ大和川がちょうど大阪城北側で合流して、大阪はいつも洪水に悩まされていました。大和川を改修して堺に流れるようにしたのが元禄の終わり、1700年代はじめですね。江戸時代としては非常な大工事でした。それ以降も淀川は再三洪水を起こし、明治の18年に大洪水が起こって、枚方あたりから現在の大阪市域が水浸しになった。それをきっかけに淀川を何とか改修しないと大阪の発展はないということで大英断をしたのです。私の子供の頃、親が新淀川と呼んでいたもので何のこっちゃいなと思ってましたが、北野のそばを流れる淀川はまさに新しい淀川なのです。



配布資料の地図にありますように、昔はこのあたりは中津川という淀川の派川が流れていました。十三という地名は成小路村のごく一部の字(あざ)名なのです。成小路村は淀川の工事ではほとんどが消滅してしまい、一部だけが残って十三という地名も小さな字名として残りました。いかに淀川の工事が大きなものであったかわかりいただけると思います。

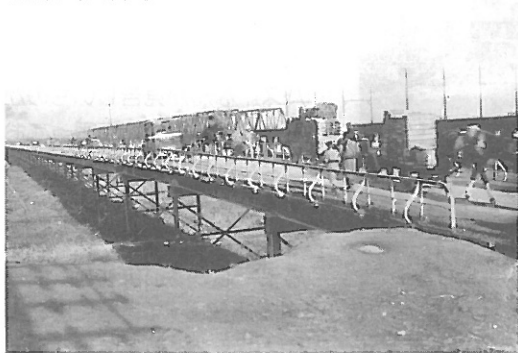
さて、平安時代ごろから上町台地の裾からずっと北西方向に街道が通じていました。歴史上の記録としては平安期にはでてこないで、『太平記』にこの街道があったらしいという記事が出てきます。楠正成の三男の正儀(まさのり)が南朝方を率いて、正平16年(1361)現在の尼崎あたりを守っていた佐々木道誉(どうよ)の孫をうち破ったという記事がありまして、その時に渡辺の橋を渡って天神の森に陣を布き、そこから中津川の橋を通して神崎の橋に攻め入った。ところが敵が神崎の橋に出てきたものだから、挟み撃ちして中津川の橋に追いつめて勝利したと書かれています。それを地図でおさえていきますと後の中国街道いうのに当たります。

そういう記事から、現在の十三あたりに橋があった可能性があるのですが、ふつう戦記物ではわりあい誇張して書いてあり、橋を舞台に戦闘があったと書くと非常に迫力がありますので、橋があったことにして書いてあるかもしれない。従って実際に橋があったという証拠にはならないのです。十三あたりに川をわたるポイントがあったことが記事として出てくるのは江戸時代で、十三の渡しというのができます。そのころになると、十三のあたりから分岐して北の方に行く街道筋、後の池田街道や能勢街道ががはっきりしてきます。もう一方は三津屋、加島を通して神崎川を渡って尼崎へ行く中国街道で、その分岐点にあたっていたこのあたりは結構賑わっていたと考えられます。中国街道は江戸中期以降には大名が参勤交代のルートに結構使うようになります。

ふつうは西国街道で箕面・高槻を通して京都の方に行くのですが、大坂に蔵屋敷などがあり立ち寄る必要もあって大坂を経由

する場合もあったわけです。そういうことで十三あたりの村々も街道沿いの賑わいがあったのではないかと想像できます。

中津川に橋がかかるのは今から100年ほど前のことで、記録上ははっきりしているのは明治11年です。それまでは幕府が街道筋を管理していましたが、明治になると通行が自由になりました。明治4年に太政官では「会社組織を作ってどんどん橋を作りなさい、通行は有料にして経営しても結構だ」というおふれを出して橋を架けることを奨励しました。公共の利便をよくしたいという要求が強い時代でもあり、中津川にも次々と橋が架けられます。いまの長柄橋のあたりに豊崎橋、新御堂筋あたりに新橋、十三には十三橋、下では淀川大橋のあたりに榑野橋というのが、明治の一桁代から10年ごろに次々に架けられます。すべて有料橋でして、十三の橋は成小路村の村民のある程度お金に余裕のある人が出資して共同経営していました。橋の長さが170メートルくらいの木の橋で、しょっちゅう洪水で損傷を受けて、なかなか償還するのがむずかしかったようです。成小路村の庄屋を中心に、大阪府に対してこの橋を府営にしてほしいと盛んに陳情するのですが、なかなかかなわなかったようです。



そうするうちに、淀川を大改修して川を掘ることになりましたので、いわば補償工事として十三大橋が明治42年にできました。写真でも分かるように、鉄の橋といっても鉄のⅠ型材を並べただけの幅の狭い非常に脆弱なもので、横の阪急の鉄橋と比べたらずいぶん貧弱な橋です。明治のおわりから大正にかけてはこういう貧弱な橋でした。



※レクチャー風景

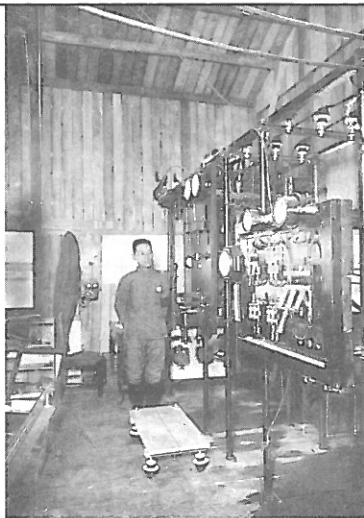
計画事業をスタートします。大阪府下でも十大放射路線を決定しまして計画的に幹線道路を作ろうということになります。そういうことで淀川に次々と大きな橋が架けられていきます。長柄橋も昭和10年にできていますし、今の淀川大橋は少し古くて大正おわりですが、伝法大橋など、ちょうど昭和の一桁代から10年代というのはそういう、いわばインフラが急激に整備された時代です。十三大橋も大阪市内から池田に行く路線の一環として架けられた橋でして、現在の国道176号線も整備されました。枝分かれして神崎の方に行く大阪伊丹線もそのころ整備されました。

ちなみに北野高校の現校舎はもうじき取り壊されますが、昭和6年に完成しています。地図で見てもらいますと、新築の校舎の場所は中津川の中だったようです。当時の生徒がイスと机を運んだといわれますが、その時は新しい十三大橋はまだ工事中で、古い幅5メートルほどの貧弱な橋を渡っていたと想像されます。

現在の十三大橋は、ちょうど川が流れているところは64mスパンの大きなアーチになっています。高水敷の部分が桁橋で構成されています。淀川は洪水河川ですから橋脚があると水の流れを邪魔するというわけで、ちょうど横の阪急電車の橋脚とは流れの方向に合うように、スパン…つまり距離は倍飛ばすように作られています。大きなアーチを支える部分の基礎はニューマチックケーソンといいまして、これは実際に人が中に入って掘っておりまして。コンクリートの狭い部屋状の中で、掘った土はバケットで放り出す。だんだん沈んでいきますと水圧がかかってくる…10メートル掘ると1気圧増えますから25メートル掘りますと3.5気圧かかるんですね。そのままだと下から水と一緒に土砂が吹き上げてきますので、この中に圧力を加えて土と

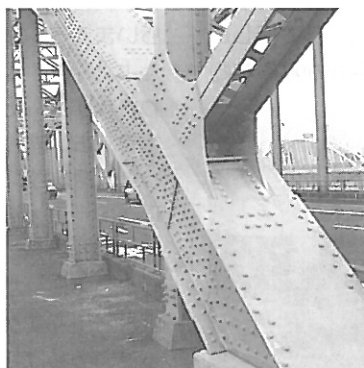


水が吹き出ないようにしながら沈めていくという工事、それをニューマチック工法といいます。この工法はかなり古い時代から行われているのですが、3気圧を超えるような高い気圧の中で作業するわけで、働けるのはせいぜい1時間程度。だから人をしょっちゅう入れ替えて…しかもすぐ外に出ますと潜水病になりますから「徐々に減圧しながら体を慣らす部屋」を特別に作って、作業員を入れ替えながら作ったということです。写真3が圧縮空を送る機械室です。



そういうふうに苦労しながら大きな基礎を作って、その上に大きなアーチ型の橋を作ったのです。工事の風景の写真がありますが、アーチを組み立てているところです。これは壽榮松さんが古本屋で見つけてこられた竣工当時の記念写真集で大変おもしろいものです(会場に写真集を回覧)。

当時は部材を運んでくるにしても余り大きな部材を運ぶことができませんので、かなり細切れにして現場まで持って来まして組立式のクレーンで一本一本積み上げていく。今のよう



のようにボルトという回転式のネジで締めつけるのではなくて、当時はリベットといいまして断面はボルトに似ているのですが、(黒板に絵を描きながら)頭がこうありまして、こういうふうに板と板を接合するところに穴を開けまして、これをコークスなんかで真っ赤に焼いて鉄を柔らかくしまして、下からちりとり

のようなものにのせて放りあげる…上に乗ってる人がまたちりとりみたいなので受けて、大きいやつとこみたいなものでこの穴に差し込んで両方からピシピシと締め付けるんですね。

こういうふうな両方丸い形のもので鉄板と鉄板をくっつける。そういうリベット工法です。現場に行ってもらおうといっぱいリベットが打ち込んでありますので壮観ですけれども、一本一本締め付けたものです。

路面の舗装も、今のように熱い



アスファルトを持ってきて大きな機械で押しならすというようなのではなくて、煉瓦ぐらいのアスファルトブロックを一枚一枚並べたのです。6番の写真はその作業をしているところです。現在ではこれを完全にめくってしまって普通のアスファルトを敷いています。歩道部は木レンガといまして木のブロックを敷き詰めております。非常に丁寧に作っています。ここにできあがった当時の照明灯の写真がありますが、現在は残念なこと

に見ることはできません。大阪市内の橋は戦前は非常にデザインに凝ったこんな照明灯なんかがついていたのですが、戦時中の金属供出でほとんど取られてしまいました。私も以前、なんとか昔の姿に復元したいということでいろいろ苦心しましたが、昔の材料はブロンズとか値の張る材料を使っていたし、復元しようにもその技術がないとか、無理に作ろうとすると非常に高い物になりまして、なかなかむづかしい。そのように非常に丁寧に施工しております。

十三大橋は昭和の7年から40年代までがんばってきたわけですが、車が急激に増えて十三大橋や長柄橋は交通渋滞の名所になり、その対策として考えられましたのが十三バイパス。なんか見苦しいものができたなあと当時は思っておりましたが、交通渋滞を解消するために作られた物です。ちょうど十三公園の横の所を高架で通っていますが、武長

(たけちょう)の横からずっと国道176号線に出るようになってます。これは中島大水道という江戸時代中期に作られました排水路の跡地の一部を利用して作ったのです。

ちょっと話は脱線しますが、大阪市内の阪神高速道路のほとんどは江戸時代に整備された堀川の跡

を使って作られています。堀川が江戸時代には水運の、物流の道具として作られたわけですが、それが昭和40年代から50年代にほとんどが高速道路の高架橋に

変わったということでありまして、いろいろ批判はありますが、交通の形態がそのころ大きく変換したということも言えると思います。

最後になりますが、その新十三大橋は30年代の終わりから40年代に架けられましたが、スパンが90メートルで、ずっと規則的で、非常に面白味のない橋なんです。これは二主桁といいまして断面を描いてみますと(黒板に描く)上の路面が鉄板でできてまして、それを2本の桁で受けている、当然舗装はしてあるのですが、床板が鉄板でできてまして、ここを溶接でしっかり固定してある。こういう非常に単純な形をしている。そういうことで桁高は3メートルで端から端まで通っているシンプルな形で、ある意味では素っ気ない形ですが、橋の技術の発展を示しています。我々橋屋からいいますとそういうことになります。

資料の最後にトラス橋の写真を三枚載せていますが、一番下のが十三大橋を向こうに渡ったすぐ横の橋です。これが一代前の十三大橋の位置なんです。すぐ横に石碑がありまして「南へ行くと高麗橋」という道標になっています。この橋が昭和12年の完成なんです。このトラス状の三角形に組んでいるものは一代前は長柄橋に使われていた桁です。

す。長柄橋は明治42年、淀川を付け替えたときにこの鉄橋に架け変わったのですが、実は国鉄の中津川の橋に架けられていたのを払い下げもらったのを長柄橋に架けたという訳でして…今残っているこの浜中津橋のトラスは明治の7年にイギリスから輸入して大阪神戸間の鉄道の橋として架けたもので、そういう意味では貴重なものです。

現地をご覧いただいたときにご説明いたしますが、こういう三角形で組んだ橋をトラスといいます。三角形の形は非常に安定した形ですので、これが使われています。現在のトラスは部材はほとんど溶接でつけてしまうのですが、当時はここにボルトを通して回転が可能ないように作られています。横っ腹に



ポツポツと六角形の頭が見えていますが、回転ができるように作られています。そういう細工が非常に丁寧にあります。

そういうことで十三の周辺には橋の歴史を物語るものがポツポツと残ってしまっていて、それなりに見ていただくと興味深いものがあると思います。

◆質疑応答◆

●橋の耐用年数はどのくらいですか。

イギリスではアイアンブリッジという1780年位の鉄製の橋が現存していて、車は通していませんが人は通しております。鉄という材料は非常に安定した材料で、丁寧にペンキを塗り替えて錆びないようにしていけば、百年二百年は優に持ちます。ただ、我々も橋の付け替えをよくしたのですが、

これは役所の悪いところですが、橋を作るときは予算が付くのですがペンキの塗り替えにはなかなか予算がつかない。ほったらかしておくと錆びて使いもんにならなくなる。もう一つは自動車荷重が現在25トンですが戦前は13トンぐらいだったんです。交通荷重がどんどん高くなっていますから、古い橋は現在の交通に耐えないというので架け替えざるを得ない。ところが

鉄道橋の方は昔は機関車で設計していますから、現代は非常に軽くなっています。というわけで鉄道橋は明治大正のものがたくさん残っています。そういう面では100年位は充分持っている。淀川の東海道線の橋も確か明治の終わりのころだったと思いますが、現在も使われていますし、丁寧に使えば(荷重のことを抜きにしますと)100年150年は充分持つということです。

●私設で橋を架けられるのですか。

十三大橋と新十三大橋の間にもう一つのアーチみたいなのが架かってますが、あれがNTTの橋です。だから目的がきちりすれば私設の橋も可能だと思います。



最近、政府が金がなくなってきたから、会社とか組織で有料の橋を架けてそれを運営してもらうように事業をやってもいいかと検討していますから、近い将来、会社組織でそういうのを作れることも可能になるかもしれませんが、交通用の橋では現在のところは法律的にはむづかしい。



解析をやるというケースもふえてますけれど、それほど規模が大きくなければ大体静的な解析でやって、あと震動数で補正をする程度で設計される場合が多いです。

●昔の橋の通行料はどんな程度だったのでしょうか。

そうですね。ちょっと厳密には答えにくいのですが、比較

●淀川の橋で最近できたものはありますか。

ここ十年位でも鳥飼に有料の橋を大阪府が架けましたし、高速道路の橋とかモノレールの橋とか、いろんな橋が架かりました。豊里大橋が万博の時にできましたし、城北公園には有料の橋ができて百円いただいております。下流の方はそれほど増えてないですが。

●橋には設計者というのはいないんですか。

土木の世界は建築とちがいで、土木の世界は建築とちがいでいまして設計者として名前を出すことはしないのです。私自身も橋梁課というところで20数年仕事しましたので、どの橋とどの橋を担当して自分がデザインを考えたというのがありますけど、記録上はいわゆる担当者の一人にすぎなくて建築家のように一人の作品というの公表しないというのがあります。役所の記録としては残っているのですが、一般に公表はされてないんです。ただ、ヨーロッパなんかは結構だれその作品と明記しているのがあります。エッフェルとか。



●地震に対する設計の基準はあるのですか。

十三大橋は作られた当時は、大正12年に関東大震災がありまして、それ以後、主要な橋は地震を考えて設計しなさいということになっておりまして、単純に言えば、こう墓石みたいなのを建てまして、これが横から力を受けてこける、それが重力に対して横方向の力、大体2割ぐらいです。力を加えても部材が折れないようにというふうな基準で大体設計されています。最近では地震の波をそのまま入れて動的



材料としまして…たとえば江戸時代に、東海道の太井川を渡るとき、担いで渡すのが二人乗りで480文。旅籠屋に泊まるのが300文ぐらいなんです。だいたい安宿に一泊する感覚です。船で渡るのはだいたい10文位で宿賃の30分の一。ということは、おおざっぱなことを言いますと、今ビジネスホテルでだいたい8000円、その30分の1位ですから200円くらい、渡し船がですね。橋で江戸とか大坂なんかで大きな橋を架け替えるとき仮り橋を作って、

それを有料にしている場合がありますが、だいたい2文から5文ぐらい。ということは100円とか50円…そんなもんです。ただ、橋を通るのが一日500人位ではなかなか償還できない。ひょっとしたら200~300円という感じで取ったんじゃないかなと思います。だから意外と高かった。渡しの場合も正確なことは言えませんが、造船費や損料、船頭の賃金、棧橋などの改修

費などがかかりますから、それを1日の利用者500人、年間1万5千から2万人位で回収するとなると、あんまり安いものではない。今の生活感覚からいうとちょっと高めじゃないかと思います。お参りにいく人とか遊びにいく人は割にお金を惜しみませんから、結構高くても払う。一般に使う人は余りいないと思います。

●十三大橋は今だったらいくらぐらいかかるんでしょう。

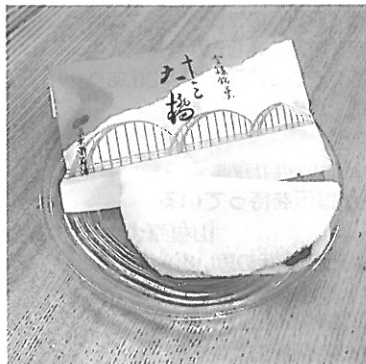
今、平方メートルあたり100万位かかるんです。いうことはやっぱり100億は下らないと思います。30階建ての超高層ビルと同じ位ですか。



●アーチって必要なんですか。
今架けるとしたらこんなアーチはいらない。100メートル位は軽々と桁橋でできます。た

だ、おもしろみがない。当時の技術や、特に材料の信頼度の問題で、当時は50メートルを超えるとアーチが必要とされたんです。だいたい橋を計画する場合、物理的な条件が決まると、適した橋のタイプをはずさないでやるのが経済的ですから、当時十三大橋を架けるときも淀川の条件がありますから、水が流れるところだけはアーチにしたわけです。

※この後、一行は北野高校を出て淀川堤防をあがり十三大橋を北詰から歩いて渡った…。



※司会者の粋な計らいで、参加者に振る舞われた銘菓「十三大橋」

●六稜WEB「わがまち大阪」を考えるシリーズ

六稜・大阪学

<http://www.rikuryo.or.jp/osakagaku.html>

【連載中】大阪の橋

松村 博（74期・大阪市都市工学情報センター理事長）

第0回●執筆者紹介

第1回●十三大橋(1)：中津川の橋

第2回●十三大橋(2)：十三の渡

第3回●十三大橋(3)：十三橋

第4回●十三大橋(4)：鉄橋の十三橋

第5回●十三大橋(5)：十三大橋

第6回●十三大橋(6)：新十三大橋

第7回●長柄橋(1)：長柄の人柱

第8回●長柄橋(2)：人柱説話の解釈

第9回●長柄橋(3)：長柄橋の始まり

第10回●長柄橋(4)：長柄橋は再建されたのか

第11回●長柄橋(5)：歌枕・ながらのはし

第12回●長柄橋(6)：長柄三ツ頭『淀川兩岸一覽』

第13回●長柄橋(7)：長柄橋の復活

第14回●長柄橋(8)：先代の長柄橋

第15回●長柄橋(9)：現在の長柄橋

第16回●長柄橋(10)：長柄橋界隈みてある記

第17回●神崎橋(1)：神崎の繁栄

第18回●神崎橋(2)：ゆりあげ橋

第19回●神崎橋(3)：中国街道の要衝

第20回●神崎橋(4)：神崎の渡

第21回●神崎橋(5)：近代の神崎橋

第22回●神崎橋(6)：先代の神崎橋

第23回●神崎橋(7)：現在の神崎橋

第24回●神崎橋(8)：神崎橋界隈みてある記

第25回●淀川大橋(1)：葉清(かしのわたり)

第26回●淀川大橋(2)：野里渡し

第27回●淀川大橋(3)：堺野橋(かしのぼし)

第28回●淀川大橋(4)：西成大橋

第29回●淀川大橋(5)：淀川大橋

第30回●淀川大橋(6)：淀川大橋界隈みてある記

to be continued.....

【新連載】笹部桜考

小林一郎（78期）

協力：西宮市笹部桜コレクション（白鹿記念酒造博物館寄託）

第1回●笹部桜とは

第2回●笹部新太郎氏のこと(1)

第3回●笹部桜スポット(1)「阪急夙川駅北」

第4回●笹部コレクション(1)「古伊万里錦手桜花御殿文鉢」

第5回●笹部新太郎氏のこと(2)

第6回●笹部桜スポット(2)「かんざき桜の山「桜華園」

第7回●笹部コレクション(2)「七宝桜花文水滴」

第8回●笹部新太郎氏のこと(3)

第9回●笹部桜スポット(3)「大阪造幣局」

第10回●笹部コレクション(3)「桜流水時絵文箱」

to be continued.....

人六らわ



題字：森繁久彌氏



【第13回】1998年10月掲載

建築家の跳躍力

竹山 聖さん(85期)

- 1 階：バスケに明け暮れた青春
- 2 階：進路は如何にして決めるか
- 3 階：社会を拒否して…
- 4 階：建築家の素質
- 5 階：竹山聖の建築学概論【序説】



【第14回】1998年11月掲載

北野にきた女生徒たち

斎藤【秋本】富美子さん(63期)

青木【井上】庸子さん(63期)

堤【笠城】英子さん(63期)

田村【福本】弘子さん(64期)

北村【山森】美佐子さん(64期)

初めに：北野高校、誕生のころ

第1話：命令一下で泣く泣く北野に

第2話：ハンディを背負ってのスタート

第3話：共学生活あれこれ

～クラブ・制服・校歌

第4話：大手前の誇りは捨てず

…でも北野でよかった



【第15回】1998年12月掲載

舞台に魅せられた男

中田浩二さん(69期)

第1幕：原点は北野演劇部

第2幕：六稜切符はフリーパス？！

第3幕：「新劇」体質に抗って

第4幕：他者とうどう組めるか

第5幕：劇団の運営と個人の生活と

第6幕：テレビ…その必要悪

第7幕：学校公演の是非

第8幕：テーマは自分探し…



【第16回】1999年1月掲載

ラテンのリズムに合わせて

八木啓代さん(92期)

第1ステージ：断りきれない性格

第2ステージ：中南米の時代？を見越して

第3ステージ：人生、流されるままに

第4ステージ：歌手として生きる？

第5ステージ：「無宗教」ということ

第6ステージ：留学のススメ



【第17回】1999年2月掲載

震災を越えて…灘の酒造り

植田伊織さん(73期)

第1樽：「灘酒造」のルーツ

第2樽：明暗分けた学生時代

第3樽：社長業を継ぐということ

第4樽：酒造り…今も昔も

第5樽：日本酒サヴァイバル

第6樽：「六稜」に学んだ大切な



【号外】1999年3月掲載

「いのちの携帯電話」が鳴った日

白倉良太さん(73期)

第6病棟：マスメディアと紳士協定

第7病棟：そして、その日…

第8病棟：マスコミの功罪

第9病棟：心臓移植、次なるステージ

第10病棟：まだ実感はいかない…



【第18回】1999年3月掲載

もうひとつの甲子園

羽間平安さん(58期)

第1版：受けたかった試験

第2版：史実と真実のハザマで…田村校長秘話

第3版：勉強してへんハズないっ！

第4版：アメフトに捧げた青春

第5版：スポーツに学ぶ人間関係

第6版：駆出しのフレッシュマン時代

第7版：嗚呼、楽しきかな営業人生

第8版：そこに印刷あり。文化あり

第9版：良き師、良き友



【第19回】1999年4月掲載

機長が指示を待っている

山根克也さん(105期)

WUN：北野時代の思い出

TOO：管制官への憧れと受験

TREE：運輸省航空保安大学校

FOW-ER：訓練生として

FIVE：全資格管制官



【第20回】1999年5月掲載

数奇なる強運弁護士の半生

津田 慎三さん(53期)

- 第1法廷：生まれは弁護士の家系
- 第2法廷：運命の出逢い
- 第3法廷：落第、落第…そして放校
- 第4法廷：ある正義漢の運命的瞬間
- 第5法廷：男は学問？！
- 第6法廷：空、陸、海と…悪運の強い男
- 第7法廷：嗚呼、転職人生…
- 第8法廷：弁護士しかない！？
- 第9法廷：右脳を鍛えよ



【第21回】1999年6月掲載

「すばる」の中のもうひとつの宇宙

家 正則さん(80期)

- 1億光年：数学は好きだったけど…
- 2億光年：ミネルバの果は「夜」星空に飛び立つ
- 3億光年：想いは世界最大級の望遠鏡へ
- 4億光年：超望遠鏡「すばる」誕生の秘密
- 5億光年～無限遠：天文学の未来



【第22回】1999年7月掲載

ヤマに憑かれた放浪人生

菊池 徹さん(52期)

- 1℃：ジブシー暮らしは生まれつき
- 2℃：ボクラ、かぶりつき3人組
- 3℃：停学—週間を命ず
- 4℃：念願の北海道で…
- 5℃：終戦、卒業、就職難
- 6℃：瀬戸内・黒パン日記
- 7℃：山師稼業のはじまり
- 8℃：ウラン開発の興奮
- 9℃：マナスル初登頂を導いた男
- 10℃：南極越冬隊秘話【前編】
- 11℃：南極越冬隊秘話【後編】
- 12℃：大人の自覚を！

to be continued.....

●六稜の出版物…好評頒布中!!



『われら六稜人1998』

【CD-ROMつき】A5版、160ページ

¥1,500 (送料込み)

<http://www.rikuryo.or.jp/shop.html>

六稜WEB（ホームページ）で好評連載中の「われら六稜人」が1冊の本になりました。

これは、昨年度125周年を記念して発行いたしましたCD-ROM『六稜WEB'98』の“附録”として制作したブックレット（小冊子）が思いのほか御好評をいただいたため、今後も年刊の出版事業として継続的に発行されることになったものです。

もちろんインターネットでは引き続き毎月、全世界で活躍する六稜人の多彩な顔ぶれを紹介して参ります。どちらもお楽しみください。

●お申し込み方法

同封の郵便振替用紙をご利用ください。あるいは郵便局に備え付けの用紙をご利用いただいても結構です。

口座番号：00990-4-68025

加入者名：六稜同窓会

ご入金を確認次第、送付させていただきます。

●1999年版【先行予約】も同時受付中!!

2000年2月に発行を予定しております『われら六稜人1999』の先行予約を同時に受け付けています。版型は同じA5版体裁で【第16回】八木啓代さん(1999年1月掲載)から1999年12月掲載分までを収録いたします。

また今度は1999年大晦日までの六稜WEBの全内容を収録したCD-ROM1999のほうが“附録”として添付される予定です。価格は据え置き¥1,500(送料込)。

なお、1999年版の発送は2000年3月を予定しています。どうぞ、お楽しみに。

PARTY REPORTS

1998.8→1999.8

(開催日順に掲載)

※同窓生の各種集いの報告を、この欄にお寄せください。

ソフトボール部創部50周年記念OG・OB総会



1998年10月24日(土)。母校講堂で記念総会、食堂で記念パーティを催した。創部は男女混成の部としてスタートした昭和23年に遡り、今回初めて創部初期の男子OBを含めた記念総会が開かれた。秋田校長をご来賓としてお招きし、50年の歴史の中で実に34年にわたり顧問を務められた稲葉先生を始め歴代の顧問、OB・OG総勢約70名が出席。とくに総会前の親睦試合では、10代から60代までのOB・OGが、ひとつの白球を追ひ求め、若やいだ歓声が河川敷のグラウンドに響き渡った。なお、50周年記念誌の刊行は目下準備中である。

六稜同窓会125周年総会

1998年10月25日(日)、ホテルニューオータニ大阪の2階ロビーは受付開始の12時30分を待つ人々で早くから賑わった。今回は125周年ということで会場をホテルにしたことや森繁久彌さんが来れることが功を奏して、例年を大きく上回る参加者があり、広い「翠鳳の間」も人人人の波。前方のステージ横には新六稜会館(仮称)の模型が置かれた。第一部総会は1時から。稲畑勝雄会長、秋田典昭名誉会長(校長)が挨拶、議事は配布資料に基づいて承認を得た。



最大の議題の新六稜会館について設計案を紹介するイメージ映像が衆目の注視のもと映写された。第二部懇親会からは79期が司会進行を務め、バイオリニストの103期高木和弘さんの演奏のあと、大山利雄副会長の音頭で乾杯。歓談の輪が会場いっぱいに広がった。文化勲章を胸に森繁久彌さんが

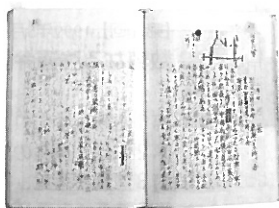


ステージで紹介されたあと車椅子で会場を回り若い会員との交流を深める様子が印象深かった。79期による抽選会に会場は一段と盛り上がり、次回担当の80期の紹介のあと、校歌斉唱、山本副会長のことばで閉会となった。なお、この総会における79期の企画による記念品販売をはじめとする寄付集め活動の成果として506,036円が同窓会に寄付された。

理研アルマイト工場 動員北中生同窓会 (59期)

六稜の歴史でもっとも激しい動乱の中に置かれたのが59期であった。

軍事色濃化の中で学業を捨て勤労働員や工場動員へと駆り出されていった。混成クラスの学徒動員隊「理研アルマイト工場隊」は村上和義君を隊長として、数少ない本職の工員と一緒にアルミ板を作り飛行機の外板や燃料タンクを作り続け、それはほぼ1年に亘った。古稀を迎えるにあたり動員者に呼びかけて11月1日同窓会を開催した。出席者31名。工場跡の見学後、プラザオーサカで宴会を開いた。また、1997年に故人となった村上和義君の遺品に日記を見つけ、北中時代の部分の抄録をまとめ冊子「雄々しくも希望を失わずに一戦時下の軍需工場動員学徒一北中生村上和義の日記抄一」を作った。(小林淳一記)



隣同志の優勝戦・50周年(野球部)

1999年3月25日。第71回選抜高校野球大会・開会式。このスタンドに往年のナインが結集した。彼等は50年前の第21回大会で優勝戦を争った宿敵



同志である。芦屋9人vs北野6人…数の上では芦屋に軍配が上がったものの「両校ナイン」は開会式が終わるや否や、第1試合の高校球児には目もくれず(笑)、球場近くの甲子園都ホテル「千歳の間」に会場を移し、半世紀ぶりの熱いバトルに火花を散らしあった。それはもう各界の名士がやんちゃな高校球児に舞い戻った図式で…抱腹絶倒の野次も飛び交い、他人目にも非常に面白カラシな愉快な瞬間だった。(編)



59期同期会（五九老会）

1999年4月10日、物故者法要を兼ねて京都清水寺で開催した。46名が京都リーガロイヤルホテルロビーで集合し、タクシーで清水寺大講堂に。森清範管長以下高僧の方々の読経のもと61名の物故者の名が読み上げられると自ずと涙がこみ上げてくる。森管長の講話にも感服。その後、洗心堂に移り宴会。大いに歓談を楽しむ。北野中学校旧校歌と新校歌を斉唱し宴は閉会。さらにその後、成就院の庭園を拝観させていただき自然解散。後日、級友から好評を得ることができ、世話人としては大変うれしかった。（国枝義治記）

選抜優勝50周年祝賀・現役激励会（野球部）

1999年4月17日。ブラザオーサカに来賓、OB、現役…総勢110名におよぶ北野野球人が結集した。司会はABCアナの中原秀一郎氏(84期)。國米宏OB会長(66期)の開会挨拶のあと、優勝メンバーが壇上に整列。清水治一監督(57期)が代表して当時のチームについて「決して強豪では無かった」と語った。来賓の牧野直隆氏(高野連会長)も「一塁審として参加」した思い出話を披露。

余興に漫才界から立山センター・オーバーが出演。オーバー氏も北野OB(88期)というから、六稜人脈の広さには改めて驚かされる。歓談のあと秋田校長が挨拶。森田大生監督(105期)が現役68名とともに整列して、今夏予選の奮闘を誓ってくれた。（編）



阪大医学部六稜会

1999年5月8日、大阪大学医学部六稜同窓会を執り行った。この会は例年5月の第2土曜日に開催されているもので、阪大医学部OBのみならず保健学科の卒業生や他大学を卒業して阪大で研修を受けられた方など…毎年40名前後の方々に参加をいただいている。幹事を医学科の5回生が代々務めている。（102期峯野隆広記）

東京六稜会42回総会

1999年6月3日(木)、東京丸の内日本工業倶楽部で約190名の出席のもとに開催された。総会は大山利雄東京六稜会会長の開会の辞で始まり、秋田校長ならびに山本次郎六稜同窓会副会長が挨拶した。講演は国立天文台教授・家正則さん(80期)の「8m望遠鏡で見る宇宙」。遠くを覗けば観るほど宇宙の歴史が明らかになっていくという話が印象的であったとは一参加者の声。その後



●六稜WEBインデックス

六稜NEWS【Sep.1998→Aug.1999】

<http://www.rikuryo.or.jp/news.html>

- 9月3日 懐かしの母校がTVに！オンエアは9月28日。
- 9月13日 吉原治良展、今日から。
- 9月22日 台風一過～ジェーンの再来か？
- 10月16日 体育大会延期のお知らせ
- 10月20日 万博公園での体育大会
- 10月25日 125周年総会、盛大に…
- 11月18日 第8回音楽フェスティバル、21日13:10～
- 11月21日 行ってきました音楽フェスティバル
- 11月24日 125周年記念の会員名簿できました
- 11月28日 六稜デジタルファンフォーラム盛会
- 12月1日 全国高校生英作文コンテストで最優秀
- 12月16日 創立125周年記念 卒業生作品展
- 1月1日 【訃報】片田清先生、ご逝去。
- 1月13日 CD-ROM「六稜WEB'98」完成間近！
- 1月24日 Kentwood 高校への派遣、決まる。
- 1月31日 柔友会写真展、母校で開催。
- 2月15日 CD-ROM「六稜WEB'98」いよいよ完成
- 2月27日 六稜観梅会1999
- 3月1日 「いのちの携帯電話」遂に鳴る！
- 3月1日 第51回卒業式、厳かに
- 3月23日 「歴史街道」に母校。オンエアは4月2日！
- 3月25日 隣同志の優勝戦・50周年
- 4月1日 平成11年度入学式、初々しく
- 4月8日 春の異動、母校よりお知らせ。
- 5月6日 【訃報】菊川暎人先生、ご逝去。
- 5月11日 男子テニス部、大阪府インターハイ3位。
- 5月28日 緑化バザーへ物品募集のお願い。
- 6月4日 沖縄の豊かな自然から生まれたクラフトたち。
- 6月6日 第52回文化祭（六稜祭）のお知らせ。
- 6月13日 新生「文化祭」…第1回六稜祭。
- 6月13日 英作文コンペ1999…審査発表+表彰式。
- 6月19日 71期卒業40周年記念祝賀会、開催。
- 6月26日 【訃報】山脇謙吉先生、ご逝去。
- 6月29日 木川田誠リサイタル。
- 7月8日 野村監督を囲んで…。
- 7月17日 六稜・大阪学講座 第1回WSに参加して。
- 7月18日 第10回期別対抗ゴルフ。
- 7月25日 第3回ジュニア天高戦ゴルフ。
- 8月14日 91期卒業20周年記念同期会、開催。

※六稜関連のイベント情報は…

同窓会事務局（Tel.06-6306-0374／月・水・金）
または、Eメール（info@rikuryo.or.jp）までお知らせ下さい。

の懇親会は総合司会石垣具子さん(69期)と当番期80期の進行によって進められ、来賓挨拶、新会員紹介、次回担当期の81期の紹介があり、最後に校歌斉唱、盛会裏に閉幕となった。



北野高校六稜七一卒業四十周年記念

71期卒業40周年記念祝賀会

6月19日、京都全日空ホテルにて開催した。山崎・博本・今中・佐野先生が参加、同期生は120名。遠くはN.Y.、沖縄、札幌からの参加もあり賑やかで楽しいパーティーとなった。会長が村上高児君から国定浩一君に引き継がれ再会を期してお開きに。2次会にも多数が参加。38人は同ホテルに宿泊し翌日もゴルフ組と観光組に分かれて楽しんだ。なお、同ホテルの社長を務める同期の鈴木君がいろいろ便宜をはかってくれた。71期では5年ごとに名簿発行、毎年春は大阪で、秋は東京で懇話会を開催して同期生に話題提供してもらっている。また大阪では春秋にゴルフコンペも催している。(岸本博充記)

天高剣友会・六稜剣友会交流試合

7月4日(日)北野高校体育館で開催された。午後1時半、六稜剣友会の長束達也会長(69期)が開会宣言。秋田校長の挨拶、両校のエール交換、物故者への黙祷のあと、試合開始。一般男子の部7人戦、女性の部3人戦、シニアの部3人戦を行い、引き分け両

校優勝となった。試合後、合同稽古。講堂に会場を移して井上正孝先生の「剣道と健康」と題する講話を拝聴した。5時からはプラザオーサカで懇親会で大いに歓談を楽しんだ。1997年の新生剣友会の発足以来、会報『士魂』第1号を刊行し意気上がる剣友会はこの「天高との果たし合い」を来年は天王寺高校で開催することにしている。(84期石倉秀敏記)

関東在住68期の会(北野東京31会)

68期の野村徹君は今年から早稲田大学野球部監督に就任し東京六大学春季リーグで優勝を果たした。これを肴に7月8日、関東在住の同期会を開催し21名が彼の祝勝に集った。(高端正直記)



91期卒業20周年記念同期会

平成11年8月14日、リッツカールトンホテルにおいて卒業20周年記念の同期会が開催された。生徒165名に恩師9名(上原、緒方、小西、田村、中川、西川、福田、松浦、松田・50音順・敬称略)の参加を頂き盛大な中にも和気藹々とした心暖まる再会の場となった。藤島、原田の名司会コンビにより先生方の御近況、各クラス代表のスピーチを聞くに嬉しく、遠くはナポリから駆けつけてくれた者とも旧交を温めることができた。参加者の感想を一つ。「同期会、皆様お疲れ様でした。幹事の皆様のご苦勞のおかげでしょう、思っていたよりずっとリラックスでき楽しめました。ホテルの立食形式では話もせず食べちゃうのが通例だったのですが、今回はほとんど食べもせず、また、そのことが惜しくもなく、本当に良かったなあと心から思っています(感想がいかにも庶民的ですみません)。」(島谷宏子記)

78期同期会

「六稜一よく遊ぶ同期会」と自負の高い78期では殆ど毎月イベントを消化。1月:新年パーティーと囲碁の会、東京新年会、2月:スキー・スノーボードを楽しむ会(岡山津黒高原)、4月:東京幹事会と吉野山観桜会、5月:ゴルフ大会、6月:花と螢を楽しむ会(宝塚・三田)、7月:運営委員会と東京地区バスツアー(伊香保・榛名湖)、8月:山歩きの会(桐池高原・白馬岳)と囲碁の会。さらに新しい試みとして東京で第1回のセミナーも開催。テーマは年金。各イベントは言い出し人が世話役となり独立採算制。参加者はそれぞれ10~30名で、徐々に新顔が登場して来るのが楽しい。家族参加も自由。活動の詳細は同期会ホームページで。(岸田知子記)

●六稜WEBインデックス

恩師を訪ねて

題字: 阿部俊一先生

<http://www.rikuryo.or.jp/onshi.html>



- 【第12回】母が敷いてくれたレール
- 【第13回】北野に着任して
- 【第14回】音楽と共に生きる幸せ

西川昭子先生



- 【第15回】書に行き詰まって...
- 【第16回】基本は呼吸法
- 【第17回】植芝盛平翁との出逢い
- 【第18回】校舎は替わっても...

阿部俊一先生

to be continued.....

【第10回クラブ対抗ゴルフ】1989年の第1回を西宮高原ゴルフクラブで開催して、早くも10回を数えることとなった。過去、野球部が7回、陸上競技部が2回、ハンドボール部が1回優勝を遂げている。

今回(1998年)も12チーム92名(10クラブ)が9月15日に三田カントリー27に参集。鎬を削った。各チーム精鋭を集めレベルの高い争いになったが結果は下記の通り。野球部Aの長老組が優勝した。(上位5人のグロス)。

1.野球部A.....414	7.ハンドボール部..455
2.野球部B.....418	8.サッカー部.....468
3.卓球部.....431	9.野球部C.....472
4.陸上競技部.....438	9.ラグビー部.....472
5.剣道部.....437	11.応援部.....473
6.テニス部.....441	12.柔道部.....484

※個人成績は次の通り。

①磯村昭夫(72期,野球部A)・・・77、②加藤一哉(88期,野球部B)・・・77、③赤尾賢次郎(64期,野球部A)・・・79

【第13回桃陰六稜親善ゴルフ大会】1998年11月23日(祝)三田カントリー27にて開催。天王寺の主催。競技方式は「全選手カウント」の天王寺方式だが、北野52名(男子44、女子8)に対し天王寺40名(男子33、女子7)と数で圧倒。男女ともに圧勝した。男女上位(北野のみ)は以下のみなさん。

男子	女子
1.谷口 行(76期).....76	1.内村真理子(78期).....91
2.今井克一(71期).....78	2.久保田静(73期).....92
3.中村 勉(78期).....80	3.山田昭子(69期).....103
4.赤尾賢次郎(64期).....82	4.岩本洋子(69期).....103
5.東口義仁(71期).....83	5.小野真子(69期).....104
5.神宅寿昭(67期).....83	

【第14回桃陰六稜親善ゴルフ大会】1999年4月29日(祝)三田カントリー27にて六稜方式(男子上位20名、女子上位5名の合計)での戦い。男子は天王寺に敗れたものの(1,805vs1,839)、女子が圧勝(574vs491)して合計では49点勝ち越した。対戦成績はこれで10勝3敗1分となった。

男女上位(北野のみ)は以下のみなさん。

男子	女子
1.谷口 行(76期).....83	1.牛丸 芽(98期).....90
2.上條孝二(68期).....85	2.森本諄子(68期).....95
3.神宅寿昭(67期).....87	3.内村真理子(78期).....98
4.吉田修治(69期).....88	4.久保田静(73期).....101
5.鈴木 宏(59期).....90	5.山田昭子(69期).....107

【第10回期別対抗ゴルフ】1999年7月18日、三田カントリー27に156名が結集、17チームの対抗戦となった。第10回を契機として事務局が従来の菅正徳氏(69期)から林田隆氏(78期)に交代するとともに、個人戦にダブルリペア方式を取り入れた。また三田カントリー27の御協力もあって、豪華賞品をとりそろえ、悪天候に関わらず楽しい六稜ゴルフデーとなった。参加者156名は過去最大の規模であり、81期や88期など新メンバーが加わり、拡大する期別対抗コンペを実感できた。

優勝 72期.....402	10位 69期.....459
2位 65期.....410	11位 88期.....470
3位 68期.....414	12位 72期.....472
4位 76期A.....419	13位 81期.....474
5位 66期.....420	14位 78期.....480
6位 71期.....430	15位 77期.....483
6位 75期.....430	16位 76期B.....517
8位 混成期.....439	17位 74期.....533
9位 67期.....449	

団体戦は精鋭を集めた72期が71期の6連勝を阻み、4度目の優勝を果たした。

※個人成績は以下の通り。

個人グロス

総合の部①沖辺 宏(72期).....72
②谷口 行(76期).....73
③藤本紀男(72期).....74
シニアの部(66期以上)
①中西藤和(66期).....81
②山口欣二(65期).....83
③野田進一(66期).....86
女子の部①牛丸 芽(98期).....87
②森本諄子(68期).....94
③山田昭子(69期).....97

ダブルリペア

総合の部①山田良治(76期).....	ネット68.2
②藤本紀男(72期).....	ネット69.2
③上條孝二(68期).....	ネット69.4

※なお、六稜ゴルフ世話人会(代表世話人:神宅寿昭氏67期)では、これら3大イベントの事務局をそれぞれ以下のように決めた。

天高戦:菅 正徳(69期)

期別対抗(2000年度):77期(落合正和)

クラブ対抗(1999年度):剣道部(林田 隆)

(2000年度):未定

会務報告＋会計報告

■125周年記念総会 10月25日（日）開催。

出席者619（内有料参加者382）名。

会場はホテルニューオータニ大阪「翠鳳の間」。
同窓会館設計案の発表およびイメージ映像上映。
その後、森繁久弥さん(45期)を囲んでパーティー。
当番期は79期。(to see → p.16 「Party Reports」)

■常任理事会（平成10年9月19日）

- ①同窓会館建設問題について。常任理事会推薦の設計案を決定。
- ②125周年記念総会について。
- ③名簿委員会活動報告。
- ④ホームページ運営委員会活動報告。

■常任理事会（平成10年12月12日）

- ①125周年記念総会報告と反省。
- ②名簿委員会報告。11月下旬に発送。5000部発行、4000部販売済み。
- ③ホームページ運営委員会活動報告(同委員長の常任理事会出席が決定)。
- ④同窓会館建設について。経過報告。今後の進め方について提案と意見交換。
- ⑤その他(10年度会費再請求、国際交流報告)。

■常任理事会（平成11年1月30日）

- ①ホームページ運営委員会活動報告(CD-ROMおよび冊子頒布の件、常任理事紹介)。
- ②会費納入状況報告。

平成10年度 六校同窓会 一般会計【決算報告】

科目	平成10年度予算	平成10年度決算	備考
●収入の部			
1 前年度繰越金	2,433,698	2,433,698	
2 入会金収入	1,170,000	1,170,000	390人
3 年会費収入	18,300,000	27,980,000	9,316人 前年比153%
4 総会費収入	1,250,000	2,906,000	415人 前年比232%
5 寄付金収入	0	670,036	会館建設寄付 506,036円を含む
6 利息収入	5,000	11,544	
7 記念誌等売上収入	400,000	395,510	記念誌等 テレカ タックシール等を含む
		1,427,500	CD-ROM（われら六校人1998）
8 名簿会計よりの返済金	0	2,640,000	
収入合計	23,558,698	39,634,288	
●支出の部			
[1] 運営費	10,000,000	13,413,652	
1 人件費	2,400,000	2,400,000	
2 雑給	1,000,000	1,204,000	
3 旅費 交通費	400,000	434,240	
4 通信費	400,000	1,781,689	年会費督促費 1,368,000円を含む
5 印刷 事務用品費	1,000,000	1,008,371	
6 会議費	600,000	323,024	
7 総会費	3,000,000	4,649,903	
8 慶弔費	700,000	734,925	
9 雑費	500,000	877,500	
[2] 広報費	6,000,000	6,903,232	
1 WEB関連費	1,168,000	2,835,254	
2 会報発行関連費	4,090,000	4,044,988	
3 広報全般経費	742,000	22,990	
[3] 全国大会出場援助費	250,000	270,000	
[4] 各種事業援助金	200,000	477,432	
[5] 名簿特別会計貸付金	3,500,000	0	
[6] 教育環境整備援助費	2,000,000	1,995,000	
[7] 同窓会館建設関連費	0	3,044,181	
[8] 予備費	1,608,698	0	
支出合計	23,558,698	26,103,497	
次年度繰越金	0	13,530,791	

以上の通り 平成10年度一般会計報告を致します。

平成11年5月25日 六校同窓会会長 稲畑勝雄

本会計の正確であることを認めます。

平成11年5月25日 六校同窓会監事 滝井尚三
六校同窓会監事 栢田圭兒

平成11年度 一般会計【予算】

科目	平成11年度予算
●収入の部	
1 前年度繰越金	13,530,791
2 入会金収入	1,050,000
3 年会費収入	21,000,000
4 総会費収入	1,250,000
5 寄付金収入	0
6 利息収入	10,000
7 記念誌等売上収入	500,000
8 名簿会計よりの繰入金	1,028,425
収入合計	38,369,216
●支出の部	
[1] 運営費	10,150,000
1 人件費	2,400,000
2 雑給	1,200,000
3 旅費 交通費	450,000
4 通信費	450,000
5 印刷 事務用品費	1,000,000
6 会議費	600,000
7 総会費	2,500,000
8 慶弔費	700,000
9 雑費	850,000
[2] 広報費	9,700,000
1 WEB関連費	3,600,000
2 会報発行関連費	6,000,000
3 広報全般経費	100,000
[3] 全国大会出場援助費	250,000
[4] 各種事業援助金	250,000
[5] 基金会計積立	5,000,000
[6] 教育環境整備援助費	2,000,000
[7] 同窓会館建設関連費	5,000,000
[8] 予備費	6,019,216
支出合計	38,369,216
次年度繰越金	0

- ③事務局報告(名簿販売状況、期別名簿フロップ一公開の件、観梅会案内)。
- ④卒業式について(稲畑会長出席)。
- ⑤新六稜会館構想について(同名資料配布、質疑応答・意見交換)。

■常任理事会(平成11年4月24日)

- ①一般会計収支概観について(10年度収支のあらまし、11年度予算についてのヒアリング)。
- ②ホームページ運営委員会活動報告。
- ③東京六稜会の現況と総会の案内。
- ④同窓会館建設問題について(今後の日程、機能検討委員会報告、意見交換)。
- ⑤その他(同窓会事業と学校との関係について、理事の選任方法について)。

■常任理事会(平成11年6月26日)

- ①平成10年度会計決算報告。
- ②平成11年度予算案について。

- ③同窓会館建設問題(現状報告、建設委員会構成承認、今後の進め方)。
- ④国際交流活動報告。
- ⑤126周年総会について。
- ⑥ホームページ運営委員会活動報告。
- ⑦その他(北野中学の碑の一時移転について、東京六稜会総会報告)。

■理事会(平成11年6月26日)

- ①平成10年度会計決算報告。
- ②平成11年度予算案について。
- ③ホームページ運営委員会活動報告。
- ④国際交流活動報告。
- ⑤同窓会館建設問題(資料説明、設計案について、機能検討委員会報告、今後の取り組みについて)。
- ⑥その他(126周年総会について、北野中学の碑の一時移転について、会費納入率アップに向けて)。

平成10年度 六稜同窓会 名簿特別会計報告

科目	決算	備考
●収入の部		
1 名簿発行準備費より受入	2,640,000	
2 名簿売上収入	16,678,500	4,065冊
3 広告収入	3,860,000	33件
4 利息収入	6,569	
5 一般会計より借入	0	
収入合計	23,185,069	

●支出の部		
1 発送費	1,707,424	
2 雑給	2,029,710	
3 交通費	158,380	
4 通信費	2,059,083	
5 印刷費・事務用品費	13,414,921	
6 会議費	16,800	
7 雑費	130,326	
8 一般会計へ準備費の返済	2,640,000	
支出合計	22,156,644	

収支差益	1,028,425
------	-----------

本会計は平成10年度をもって閉鎖し、差益は一般会計に繰り入れ、今後の名簿にかかわる収支は一般会計で扱うものとする。

名簿発行部数	5,000
平成10年度販売数	4,065
寄贈分	232
在庫数	702

以上の通り 平成10年度六稜同窓会名簿特別会計報告を致します。
平成11年5月25日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。
平成11年5月25日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 柊田圭兒

平成10年度 六稜同窓会 基金会計【決算報告】

科目	決算	摘要
●収入の部		
1 前年度繰越金	105,684,865	大和倉庫信託、郵便定期貯金、 農林中金定期、住友スーパー 定期、ほか
2 利息収入	621,433	
収入合計	106,306,298	

●支出の部		
	0	
支出合計	0	
次年度繰越金	106,306,298	

以上の通り 平成10年度六稜同窓会基金会計報告を致します。
平成11年5月25日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。
平成11年5月25日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 柊田圭兒



母校の窓

■職員異動

〔御転任〕

浦谷正美教頭(H10～,在職1年)

大阪府教育委員会に

福井克次事務部長(H8～,在職3年)

大手前高校事務部長として

飯尾朗子先生(国語S60～,在職14年)

福井高校へ

中井雄三先生(理科S60～,在職14年)

布施北高校へ

竹上 栄先生(英語H2～,在職10年)

野崎高校へ

植野秀伸主査(事務H8～,在職4年)

中津養護学校へ

川端和美主事(事務H8～,在職4年)

大阪府教育委員会義務教育課へ

辻中栄雄技師(S60～,在職14年)

堺養護学校へ

それぞれ転任になりました。

〔御着任〕

次の教職員の方々をお迎えしました。

小森重喜教頭

東寝屋川高校教頭から

井上洋治事務部長

府立中宮病院から

堀川理介先生(理科)

大阪教育大学附属高校平野学舎から

下村孝夫先生(英語)

枚方津田高校から

東野秀夫主査

府立農芸高校から

吉村和子主事

府立住吉高校から

〔御不幸〕

片田 清先生(英語,S46～61)が本年1月

村上正巳先生(数学,S11～14)が本年1月

菊川陞先生(数学,S37～55)が本年5月

山脇謙吉先生(国語,S45～55)が本年6月

にお亡くなりになりました。心よりご冥

福をお祈り申し上げます。

■平成11年度 全国大会出場激励金

・全国高校囲碁選手権全国大会

〔団体戦の部〕

船橋俊輔、山内熱人(囲碁将棋部3年)

中野貴章(囲碁将棋部2年)

〔個人戦の部〕

船橋俊輔(囲碁将棋部3年)

・全国高等学校総合文化祭【囲碁部門】

〔個人戦の部〕

船橋俊輔(囲碁将棋部3年)

・全国高等学校総合体育大会【登山競技の部】

松本大輔・小菅大之・松林健吾・

服部敬弘(山岳部3年)

※以上の団体・個人に、規定に従って
激励金が授与されました。ありがとう
ございました。

■平成11年度 文化活動振興賞

授与者および受賞理由は以下の通り。

芝田正志(英作文)3年

「Computers and Our Society」

・第37回全国高校生英作文コンテスト

【2,3年の部】最優秀賞・文部大臣激励賞

■平成11年度 文化活動助成金

該当者なし。

■北野高校国際交流基金にご協力を!!

基金の設立以来、同窓の先輩諸氏から
御厚志を賜り、国際交流活動の充実に
役立たせていただいております。厚く
御礼申し上げますとともに、今後なお
一層、広くご支援賜りますようお願い
申し上げます。

【御寄付】1998.9～1999.8

72期同期会(さんご会).....10万円

■六稜WEB主催 英作文コンテスト

平成11年度の第2回六稜WEB英作文コ
ンペティション(審査委員長:佐野哲
郎、61期・京都大学名誉教授)の審査
結果は次の通り。

〔最優秀作〕

該当なし

〔優秀作〕

前田いずみ 3年

「Japanese in the 21st century」

竹越千絵 3年

「What we have lost in the 21st century」

〔佳作〕

康 瑛瑛 3年

「Disappearing School Building」

なお、6月13日の六稜祭(文化祭)当日、
校長室にて表彰式が行われた。

■クラブだより

.....運動部(50音順)

【合気道部】わたしたちは公式戦などは
ありませんが、今年の合宿で高段の先生
方の技・指導を受け、2年生は全員2級
を審査していただき、取ることができま
した。1年生も来年に備えて日々練習に
励んでいます。今後は11月か12月に1

級、来年5月頃に初段を受ける予定をし
ており、それに向けて主に課題を中心に
練習しています。5月には2年生が全員
初段を取れるように頑張ります。

【剣道部】2年男子9人・女子4人、1年男
子11人・女子4人、マネージャー1人の
合計29人で、日曜日を除いて毎日活動
しています。また、OBの方々に毎月稽
古をつけていただいています。

【大阪高校総体】(1998.8)

男子ベスト16

【大阪高校剣道新人大会】(1998.11)

男子 ブロック3位、女子 ブロック2位

(※男女ともに中央大会進出)

【定期戦(vs天王寺高)】(1999.7)

引き分け

【硬式野球部】野球部は今年の夏の地区
大会で2回戦の対科学技術戦に8対1で7
回コールド勝ちしましたが、3回戦では
対大阪学院戦で0対9の7回コールド負け
をして、3年生は引退となりました。新
チームになってからは、再び柴島高校の
グラウンドを使わせていただいたり、多
くの人々に支えられて、新たな気持ちで
来年、20世紀最後であり、2年生にとつ
ても最後となる白球を追う夏を自らつ
くりたいと考えています。応援よろしくお
願いします。

【サッカー部】昨年9月の選手権では惜し
くも3回戦対寝屋川戦で敗退してしま
いましたが、新人戦では強豪関大一高に0
-1と大健闘でした。春の大会は、2回戦
対池田戦敗退と、納得のいく結果が出せ
なかったので今年の選手権では全員一丸
となって1戦でも多く勝てるよう頑張
ります。選手権、北摂リーグ、新人戦を控
え、勝利に向けてクラブの空気にも変化
が現われました。OBさんや皆さんの期
待にそえるよう一同気をひきしめ頑張
りますので、ご支援宜しくお願いします。

【山岳部】98年夏山は、北岳、間ノ岳、
塩見岳縦走。秋山は鈴鹿山系縦走。99
年夏山は双六岳、槍ヶ岳、燕岳縦走。
【全国高校登山大会】98年
男子A隊出場。IH高知大会全国38位。
【大阪高校秋季登山大会】98年
団体男子B隊1位。
【全国高校登山大会】99年
男子A隊出場。IH岩手大会全国33位。
今後も温かいご支援を宜しくお願いします。

【柔道部】試合では思うような結果が出
ませんでした。合宿も終わり心機一転
次の試合へ向け頑張っていますのでOB
さん方、是非練習相手になって下さい。
【天高戦(於北野高)】(1999.6.27)

点取 北野 2-2 天王寺

勝敗 北野 0-5 天王寺 (4人残)

【女子体重別選手権(於近大附高)】(1999.7.28)

千須和、準決勝敗退→近畿大会出場

[高校総体(於なみはやドーム)] (1999.7.29-30)
団体 北野 0-5 電通大高
個人 上島・津川 1回戦敗退

【水泳部】 水泳部は冬の間は持久走やウエイトトレーニング、球技などをして夏に向け備えています。また夏休みや冬休みなどは温水プールへ行ってスイムトレーニングをしています。

[新人戦] 98年度
100Mバタフライ(村瀬陽介)決勝9位
男子400M混泳(野村,柄谷,村瀬,矢間)決勝7位
[中央大会] 99年度
200Mバタフライ(村瀬陽介)10位
[三校戦] 北野3位
[市田戦] ×

【ソフトボール部】 現在、部員が9人という少ない人数ですが、毎日元気良く練習しています。9月に行われる部別大会での勝利を目指して頑張っています。もしよければ、河川敷で練習していますので見に来て下さい。

[インターハイ予選]
× 6-11 八尾東
[大阪総体]
○ 18-8 北千里
× 0-10 明浄学院
[府立大会]
○ 13-6 布施
× 2-12 狭山

P.S.昨年の創部50周年記念OB総会の折には多数のご出席有難うございました。記念誌は鋭意準備中です。もうしばらくお待ち下さい。

【卓球部】 合宿も終わり部の雰囲気も良くなり、これからが楽しみです。皆が卓球が大好きで、とても真剣です。チーム全員が切磋琢磨し合い、上位に行けるように頑張りたいと思います。

[全国高校選抜大会]
シングルス Best32
[大阪高校選手権大会]
団体 ベスト32
[夏季北摂大会] ダブルス 準優勝
シングルス Best8

【女子テニス部】 2年生9名、1年生5名の計14名で毎日暑い中一生懸命頑張っています。試合で少しでも上へ進めるよう、一人一人とても努力をしています。公立団体では、惜しくも本戦出場はなりませんでした。総体やオープン、これから先の大会でも本戦の出場を目指してみんなで頑張りますので、応援よろしくお願いします！

[初級者テニス大会] 8月16日～
[公立対抗] 9月
[赤坂杯] 11月

【男子テニス部】 顧問の先生が探してくれたコートや中庭のコートを使い、何年か前に比べると悪条件ですが、部員10人と顧問2人でしっかりと練習しています。今後の試合では今まで以上の結

果を残せるように頑張るので期待しておいてください。
[春季テニス大会] 団体3位
[赤坂杯(第一学区大会)] 優勝
[関西ジュニア] ベスト32

【女子バスケットボール部】 1・2年生12人で、OB・OGさんに指導してもらい、日々練習しています。

[総体予選] (1998.8)
1回戦 × 59-84 福島女子
[公立校大会] (1998.10-11)
予選敗退
[定期戦] (1998.10)
○ 85-33 天王寺
[新人戦] (1999.1)
2回戦 × 48-60 桜塚
[IH予選ブロック] (1999.4-5)
決勝 ○ 54-41 箕面
2次予選(Best16) × 42-112 樟蔭東

【男子バスケットボール部】 僕たちは顧問の先生やOBさんたちの熱心な指導のもとに、毎日練習を重ね自分たちの満足できるプレイを目指しています。是非一度練習を見に来てください。

[大阪高校総体]
1回戦 ○ 80-49 渋谷(1998.8.12)
2回戦 × 57-98 星翔(1998.8.13)
[’98 北地区公立大会]
2勝2敗1分け ブロック3位
[新人戦北地区]
1回戦 ○ 70-68 履正社(1999.1.10)
2回戦 × 53-78 附属池田(1999.1.15)
[四校定期戦] (1999.4.4)
× 61-86 神戸
× 48-54 灘
[インターハイ予選]
1回戦 ○ 81-78 和泉(1999.4.25)
2回戦 × 63-67 羽曳野(1999.4.29)

【バドミントン部】 放課後体育館が使えないので、朝早くから朝練、昼休みには昼練、そして放課後は外で練習して頑張っています。練習環境に恵まれていないながらも、実力をどんどんつけ、今では府の大会でもベスト4に食い込むくらい、強くなりました。今後は近畿大会などにも出られるように頑張ります。OBの皆さんも、暇があれば、是非練習を見に来てください。
[大阪高等学校春季大会]
男子ベスト8・女子ベスト32

【女子バレーボール部】 1年8人、2年7人で毎日2部昇進目指して頑張っています。

[’98総体] × 0-2 吹田東
[’98府立高] × 0-2 島本
× 0-2 千里
[’98秋季部別] × 0-2 刀根山
× 0-2 東商業
× 0-2 関西創価
[’99春の高校バレー] × 0-2 住吉

[’99西田杯] × 0-2 池田北
× 0-2 池田
[’99春季部別] × 1-2 高石
× 0-2 島本
○ 2-0 関西福祉
[’99総体] × 0-2 高槻北

【男子バレーボール部】 お忙しいとは思いますがOBの方、是非いらして下さい。お待ちしております。

[春期部別] × 0-2 日根野
○ 1-2 大教大天王寺
× 0-2 関西創価
[豊能大会] ○ 2-0 少路
○ 2-0 池田
○ 2-1 渋谷
× 0-2 刀根山
× 1-2 桜塚(第4位)
[近畿地区] × 0-2 近大附属
[大阪総体] × 0-2 大阪学院

【男子ハンドボール部】 当分の目標は中央大会での1勝をあげることです。是非応援に来てください。

[秋季ブロック大会 準優勝]
1回戦 ○ 豊中高校
2回戦 ○ 茨木高校
3回戦 ○ 千里高校
決勝戦 × 箕面高校
[中央大会] (1999.8.14)
出場決定(対戦校未定)

【女子ハンドボール部】

[秋季総体ブロック大会] (1998.8)
一回戦敗退
[新人ブロック大会] (1998.10)
二回戦敗退
[IH予選ブロック大会] (1999.4)
○ 25-4 牧野
× 3-15 春日丘
[秋季総体ブロック大会] (1999.8)
× 5-5 茨木(ペナルティ合戦)
中央大会出場目指しがんばります。

【ラグビー部】 花園出場を目指し、夏合宿も乗り越え、部員一同練習に励んでいます。

[全国大会大阪府予選]
1回戦 ○ 50-7 生野
2回戦 × 14-53 島本
[近畿大会大阪府予選]
1回戦 ○ 22-7 関西大倉
2回戦 ○ 34-0 阪南大
準決勝 × 0-87 啓光
シード戦 × 22-73 柏原
[定期戦]
○ 27-24 天王寺
○ 46-19 神戸
○ 47-17 洛北

.....文化部(50音順)
【ESS部】 昨年9月、ESS部はJuhi先生にかわって、新しいAETの先生として、Winnie Law先生を迎えました。他校の

ESS部との交流の場となっている夏のセミナーに参加した部員もあり、活動の幅を広げつつあります。現在、1年生10人を新しく加えた計約20人で、週に2回活動しています。Winnie先生との会話の時間をもうけたり、字幕なしの映画鑑賞、時にはパーティーも開きながら、英語と共に遊んでいます。

【園芸同好会】現在活動中の部員は3年生1名のみですが、六稜祭では多くの先生方(顧問以外の先生も含めて)やOBのご協力を得て、本年も「六稜園芸店」を開き、多くの苗・球根を売ることができました。収益金は新校舎周辺の緑となる予定です。

【オーケストラ部】女子22名・男子1名で日々楽しく活動しています。現在、秋の演奏会に向けて交響詩「モルダウ」を練習しています。

【1年間の活動記録】

音楽フェスティバル(1998.11.21)
第1ブロック音楽会(1998.12.20)
扇町教会音楽礼拝(1999.1.17)
大阪府高等学校音楽会(1999.2.7)
楽友会(1999.3.14)
新入生歓迎演奏会(1999.4.19)
文化祭(1999.6.13)

六稜イエローページ

※これらのアドレスは予告なく変更される場合があります。

六稜関連の催し物の情報提供は…

info@rikuryo.or.jp

六稜WEBへのご意見、ご感想は…

voice@rikuryo.or.jp

六稜WEBへのリンクをご希望の方は…

link@rikuryo.or.jp

六稜WEBに関する技術的なご質問は…

tech@rikuryo.or.jp

六稜WEBの著作権に関するご質問は…

kenri@rikuryo.or.jp

その他、六稜WEBへの苦情・ご要望等は…

webmaster@rikuryo.or.jp

WEB運営委員会(委員長)へのご意見は…

iinkai@rikuryo.or.jp

同窓会事務局へのお問い合わせは…

office@rikuryo.or.jp

東京六稜会へのお問い合わせは…

tokyo@rikuryo.or.jp

六稜MLに関するご質問、お問い合わせは…

MLsupport@rikuryo.or.jp

住所・勤務先・氏名等の変更通知は…

meibo@rikuryo.or.jp

同窓会名簿に関するお問い合わせは…

meibo@rikuryo.or.jp

六稜Museumに関するお問い合わせは…

museum@rikuryo.or.jp

六稜購買部に関するお問い合わせは…

shop@rikuryo.or.jp

校舎改築に関するお問い合わせは…

kaichiku@rikuryo.or.jp

定観測隊への励ましのメールは…

kaichiku@rikuryo.or.jp

六稜セミナーに関するお問い合わせは…

workshop@rikuryo.or.jp

【コーラス部】現在、3年生が引退したので、2年生3名(2名は兼部)になってしまいました。よって活動休止中です。只今、男女部員大募集中。

【昨年度8月以降の主な活動】

北野フェスタ(1998.8)
音楽フェスティバル(1998.11)
第1ブロック音楽会(1998.12)
大阪府高等学校音楽会(1999.2)
新入生歓迎演奏会(1999.4)

※今後の活動予定は未定です。

【書道部】3年生が2人、2年生が1人という状況ですが6月の六稜祭ではかなり多くの作品を展示することが出来ました。3年生はもう引退しているので、部員を増やすことが現在の第一の目標です。

【新聞部】現在一年4人という、ある意味前途洋々、ある意味崖っぷちな状況で活動中です。今年に入ってから発行ペースは、新入生歓迎号を含めて3号と快調なので、今後もコンスタントな発行を心がけたいと思います。

【吹奏楽部】第38回全日本吹奏楽コンクール高校Aの部で初の府大会出場を果たしました。部員は57名。

練習場所を探しながら毎日練習に励み、様々な本番に向けて忙しく活動しています。

・第25回アンサンブルコンテスト(1999.1)

クラリネット8重奏 金賞

サクソ8重奏 金賞

・第2回定期演奏会(1999.5)

・文化祭(1999.6)

・第38回全日本吹奏楽コンクール

北地区大会(1999.7) 金賞・地区代表

大阪府大会(1999.8) 銀賞

※その他、第1ブロック音楽会、大阪府高等学校音楽会などに出演。10月31日の六稜同窓会総会でも演奏させていただきました。

【生物研究部】現在8人で活動しています。主な活動内容は、プロトプラストの作成、細胞融合、組織培養や、鳥の観察、昆虫採集、昆虫の標本の作成です。今年の夏季合宿は8月1日から8月3日に赤目(三重県)で行いました。現在、プロトプラストの作成や組織培養に力を入れているので自然史博物館での秋の発表会に向けてがんばりたいと思っています。

【文芸部】現在部員3人の文芸部。しかし、雑誌への投稿、秋には部誌「幻」の発行などを予定しています。

OB・OGさんやその他の方への部外投稿もお待ちしておりますので、是非一度部員に声をかけてみてください。

【放送部】7月現在のわが放送部の部員は、3年生6人、2年生3人、1年生2人の合計11人で、月～金曜日の昼休みに30分間行っている校内放送をメインに活動しています。この他にも、水泳大会や体育大会など、学校行事でのアナウンスや放送用機材の管理や、またFM局への学校紹介の作品出展なども(決して派手ではありません)行っています。

3年生が引退すると部員が半分にになるので心配ですが1・2年生のやる気に期待しています。

【漫画研究同好会】毎週木曜日に食堂で活動しています。皆で共通の好きな小説・本・ゲームの話で盛り上がりたり、そうでなくても世間話で花を咲かせている実には個性的な同好会です。夏休み中には他校の漫研部との交流会があり、他の人のイラストなどから刺激を受けたり、お友達がたくさんできてすごく楽しいです。OBの方々も参加して下さい、OBの方々との交流もできます。漫研にとって一番楽しい行事です。

編集後記

★「六稜会報」は今年度より年2回の発行となります。「みなさまへの行き届いた情報媒体」を目指す広報委では長年の念願でしたが、今後数年内に新六稜会館建設という大事業もあって、「会報」の果たす役割が重視された結果と思います。これが永続するかどうかは今のところ未定ですが同窓会活動の活性化には必須であると確信しています。会員の皆様のご支持ご協力を心よりお願いします。なお、次号(34号)は2000年2月のお届けを予定しています。

★97年7月の六稜同窓会ホームページ(WEB)開設以来、同窓会の広報活動はWEBと会報の連携プレイとなりました。WEB掲載記事のすべてを会報に載せることはできないのでINDEXを紹介しています。WEBをご覧になれない方、また手元に置いてゆっくり読みたい方のために主

要記事の冊子化も次々と実現していく予定ですが、その第1弾として刊行された「われら六稜人1998」は大好評を博しています。続く2号も来春刊行されます。ぜひ手にとってご覧ください。

★「大阪の橋」ワークショップは新しい同窓会館活動のいわば先取りです。WEBの「大阪学」で筆を振っていただいている松村博さんの講義と実地見学。今回は広報不足で参加者が少数でしたが、今後も続けていきます。(編)

■大学合格者数一覧 (H11.4.13現在)

国立	男	女	計	香川医科大学	1	0	1	龍谷大学	5	6	11
帯広畜産大学	1	0	1	九州大学	2	1	3	大阪医科大学	3	2	5
北海道大学	4	3	7	佐賀大学	0	1	1	大阪薬科大学	2	7	9
東北大学	6	1	7	鹿児島大学	2	0	2	関西大学	54	39	93
筑波大学	2	1	3	琉球大学	1	1	2	近畿大学	13	9	22
千葉大学	1	1	2	合計	149	80	229	関西学院大学	46	55	101
東京大学	2	0	2					甲南大学	5	5	10
東京工業大学	4	0	4	公立	男	女	計	神戸女学院大学	0	6	6
東京水産大学	1	0	1	札幌医科大学	1	0	1	神戸薬科大学	3	8	11
東京農工大学	1	0	1	東京都立大学	1	0	1	その他(5名未満の大学)	16	36	52
一橋大学	1	0	1	福井県立大学	0	1	1	合計	313	278	591
横浜国立大学	0	1	1	岐阜薬科大学	1	0	1				
富山医科薬科大学	0	2	2	静岡県立大学	1	1	2	短大	男	女	計
金沢大学	2	0	2	滋賀県立大学	1	1	2	大府看護医療技術短	0	1	1
福井医科大学	1	0	1	京都市立芸術大学	0	1	1	神戸市看護短	0	1	1
信州大学	2	0	2	京都府立大学	1	0	1	尚美学園短期大学	1	0	1
静岡大学	2	0	2	京都府立医科大学	1	0	1	関西女子短	0	1	1
名古屋大学	3	1	4	大阪女子大学	0	1	1	合計	1	3	4
三重大学	1	0	1	大阪市立大学	11	5	16				
滋賀大学	1	1	2	大阪府立大学	15	10	25	準大学等	男	女	計
滋賀医科大学	1	1	2	大阪府立看護大学	0	1	1	水産大学校	1	0	1
京都大学	39	10	49	和歌山県立医科大学	1	0	1	防衛医科大学校	3	0	3
京都教育大学	0	1	1	岡山県立大学	0	1	1	防衛大学校	5	1	6
京都工芸繊維大学	5	1	6	山口県立大学	0	1	1	合計	9	1	10
大阪大学	35	13	48	合計	34	23	57				
大阪外国語大学	1	0	1	私立	男	女	計	専修学校等	男	女	計
大阪教育大学	3	7	10	慶応義塾大学	11	2	13	IEDニッケン	0	1	1
神戸大学	20	22	42	東京理科大学	8	1	9	大阪市立看護専門	0	1	1
兵庫教育大学	0	1	1	早稲田大学	22	6	28	大阪府立千里看護専	0	1	1
奈良女子大学	0	2	2	京都女子大学	0	5	5	合計	0	3	3
鳥取大学	1	0	1	京都薬科大学	2	5	7				
岡山大学	1	5	6	同志社大学	60	35	95	就職	男	女	計
広島大学	2	0	2	同志社女子大学	0	8	8	国家公務員	0	1	1
山口大学	0	2	2	立命館大学	63	43	106	合計	0	1	1
香川大学	0	1	1								

あなたの年会費がすべての絆を支える基盤です

総会・理事会の開催●毎年10月最終日曜日に全会員を対象に総会を開いています。総会の後の懇親パーティーは、世代を越えた歳のつながりを実感できる貴重な機会です。卒業後5年以内の会員は無料招待ですので、ぜひ参加して下さい。理事会は各期の学年理事により構成され、基本的には年に1～2回、5～6月に開催しています。また常任理事(約20名)による常任理事会は年に5～6回開かれています。

会報・WEB(ホームページ)による広報●年に二度、9月と2月に「六稜会報」を全会員に郵送し、在学中の生徒にも配布しています。同窓会の事業内容の紹介、会員に関するニュース、同期会の情報、母校の現況などをお伝えします。さらにインターネットに六稜同窓会ホームページを開設。タイムリーな情報をいち早くお知らせするほか、さまざま

六稜同窓会はこんな活動をしています

まな角度から北野の過去を語り未来を論じる、あらたな情報発信としてのメディアを目指しています。

会員名簿の発行●5年に一度、全会員のデータを記載した名簿を発行し、希望者に頒布しています(最新のものは昨年発行の創立125周年記念名簿で、次回は平成15年発行の予定です)。会員の消息は常時、同窓会事務局のコンピューターで管理しており、また名簿発行に先立ち、全会員に登録事項の照会を行ない、最新のデータを掲載するよう努めています。何よりも会員諸氏からの情報提供の豊かさ、確実さが名簿の命です。ご協力を切にお願いいたします。

会員への情報提供サービス●各期の学年同窓会の企画の相談に

応じたり、また事務局で把握しているその期の会員名簿やタックシールのPrint Outも引き受けています。また、クラブのOB名簿の照合・確認にも応じていますが、各OB会からの情報提供も大歓迎です。パソコン・コピー機も備えていますので、同期会の案内の準備・発送作業などにも利用して下さい。

母校の教育活動に対する支援●生徒のクラブ・個人の近畿大会や全国大会出場に際して、お祝いと激励の意味を込めて大会出場激励金を授与しています。また、同窓会本体の活動ではありませんが、同窓生有志の発起により、生徒の文化部・同好会の顕著な文化的活動の顕彰・育成を目的に文化活動振興賞と助成金の制度が設けられています。

さらに、平成5年の創立120周年記念行事・事業には学校・PTAと一体となって取り組み、その成果の一つとして現在、校内に北野高等学校国際交流基金が設置されています。

今後の活動目標●平成14年に予定されている新校舎の竣工・完成にあわせて、旧テニスコート奥の森の一角に同窓生の芳志による新同窓会館の建設を計画しています。単なる同窓生交歓のためのスペースであるにとどまらず、資料館としての機能も果たせ、いわば六稜文化の継承・創造のための情報発信基地として機能させたいと願っています。

お願い●以上、紹介した活動のすべては会員の年会費(年額3,000円)によって支えられています。毎年、会報送付の時に振込み用紙を同封していますので、ぜひご協力ください。

六稜同窓会126周年総会

開催のご案内

入学式、卒業式、文化祭…あの懐かしさも風格溢れる講堂が、煉瓦の校舎ともどもその長い歴史に幕を閉じ、いよいよ来春解体される予定になりました。今年の総会は奇しくもこの講堂と煉瓦の校舎とのお別れの集いです。歴代校長のいかめしい肖像写真に囲まれて、六稜同窓生が講堂に結集する最後の機会となります。

日時 1999年10月31日(日)

総会

開会 13:00

会場 大阪府立北野高校《講堂》

いよいよ数年後に着工予定の新六稜会館(仮称)についての全貌が明らかになります。目で見、耳で聞き、われらが21世紀の集いの空間に夢をさせましょう。

懇親会

開会 16:00 (受付開始は15:30)

会場 サンボード(4F)

大阪市淀川区十三本町1-7-27 TEL.06-6302-8826

会費 5,000円

※ただし、107期(H7卒)以降(卒業5年以内)と55期(S17年卒)以前の方は無料

去る物あれば生まれいずる物あり…。皆様の前にはピカピカの新校舎がその威容を誇っています。第1期工事をほぼ完了した新校舎(東半分)、図書館、多目的ホールなど…公立高校としては全国一の見事な建築物といえます。「もう一度高校時代に戻って、この校舎で学びたい…」という感想がほとんどの皆様の心をよぎることでしょう。

総会のあと、みんなでこの新校舎を見学するという画期的なプランも計画中です(内部見学については現在折衝中)。さあ、北野高校の歴史の変貌の今、最後の講堂に集まり、産声を上げた新校舎と会いましょう。

